

ほほえみ

法人経営理念

『地域、利用者と共に職員自らによる
福祉価値の創造と
永続的な幸福生活の追求』

施設理念

『私たちは、利用される一人ひとりと
手をつなぎ、心をあわせ、
だれもが自分らしさを大切にできる
ことを原点とします。』



デイサービス

ショートステイ



デイサービスやショートステイでは、季節にあわせた壁画をご利用者と一緒に作成しています。季節は夏へと移り変わりましたが、紫陽花がきれいに咲きました。皆さんも一緒に作ってみませんか？

「いつも温かい支え、
ありがとうございます」

大石 一雄



私はこのたび社会福祉法人さくまの理事長を退任致しました。理事長在任中は役職員の皆さん、地域の皆さんには大変お世話になりました。いつも温かく支えていただき心強い仲間でした心より感謝と御礼を申し上げます。

元来、高齢者施設などの経験も殆どなく未熟な私ですが、佐久間町へのたくさんの良き思いから、さくまの里施設長、社会福祉法人さくまの理事長職を引き受けさせていただきました。

私の母親の実家が佐久間町であり、子供の頃、家族で砂利道を国鉄バスに揺られながらよく泊まりに来ました。清々しい新緑の山々に気分は遠足、いつでもひんやり滝沢の水遊び、庭の柿の木に登って水窪川を眼下に坂道を上って来る人を眺め待つ、まるで江戸時代。お祭りには今でもあの美味しさは忘れられない白和えをお腹いっぱい親戚中で神社に向かう。佐久間ダム完成の翌昭和三十二年に年長の従姉に連れられ、初めての飯田線に乗ってダムの見学、大勢のいとこたちと見た、あの活気あふれる楽しく賑やかな景色はつい先日のごとのようです。

そんな心豊かにさせられた思い出の地域で、理事長職を拝命頂き職員とともに私が出来た役割をせいっぱい果たしていきたい、という思いで楽しく仕事させていただきました。

八年間でした。原田橋の崩落、コロナウイルスの感染防止など大変なこともありましたが、職員一人一人の頑張りにより、オールさくまの里で明るく夢を持って乗り越えることができました。人と人が支え合う、山間地だからこそ大切なことがある。多くのことを学びました。そんな素晴らしい職員と楽しく自然豊かなさくまの里で一緒に仕事をできたことは私の誇りであり、大きな財産となりました。また、地域の多くの皆さんと知り合うことができ、一層、佐久間町とご縁を深めることができました。みんなでさくまオンラインワンの地域福祉を目指した大変貴重な時間を過ごすことができました。

今後は、中山間地域の最大の課題であります職員の人材不足、地域住民の高齢化はますます進んでいきます。地域とさくまの里が寄り合い、地域唯一の社会福祉法人施設としての存在意義を忘れることなく、山の身近な施設として、安心、安全な質の高いサービスを継続していかなければなりません。誰もが笑顔で自分らしく暮らしていける町、さくまの里であることを願っております。

最後に、私的な話で恐縮ですが、本年百歳を迎える母親が前述したとおり佐久間町出身であります。私が二十年ほど前の施設長時代のことですが、市内の自宅から二時間ほどかけて宿舎へ戻る際、三ヶ月に一度ほど母親も私と一緒に佐久間へ来ました。車には弱い母親ですが、この行き道は嬉しそう、宿舎では自分が生まれ育った故郷の風が大変心地良さそうで、生き生きしていました。初めて、少しは親孝行出来たかなと、今、思っています。これもさくまの里で仕事が出来たおかげと、心より感謝しております。ありがとうございます。

社会福祉法人さくま 役員改選のお知らせ

2023年度定時評議会にて新たな役員体制が決定しました。

理事 9名（任期：2023年6月28日～2025年6月定時評議員会終結時）

笹ヶ瀬慶造	社会福祉法人さくま 理事長	(新任)
鎌田 裕子	聖隷福祉事業団 理事・常務執行役員	(再任)
弓桁 智浩	聖隷福祉事業団 和合せいれいの里総園長	(新任)
鈴木 和三	旧佐久間町議会議員	(再任)
足守 良夫	NPO 法人がんばらまいか佐久間活動委員会委員長	(再任)
村瀬 純子	民生委員地区会長	(再任)
岩見 桂浩	社会福祉法人さくま 法人本部事務局長	(再任)
中野 幸代	特別養護老人ホームさくまの里 施設長	(再任)
笹野 茂子	特別養護老人ホームさくまの里 入居サービス課 課長	(新任)

監事 3名（任期：2023年6月28日～2025年6月定時評議員会終結時）

大石 一雄	元聖隷福祉事業団 監事	(新任)
新堀 征司	一般財団法人中部公益会 専務理事	(再任)
鈴木 勝雄	元聖隷福祉事業団 監事	(再任)

退任の皆様

社会福祉法人さくまの発展向上にご尽力いただき、心より感謝いたします。

理事

大石 一雄 津幡 佳伸

新任挨拶 “さくま”の魅力を最大限に活かした組織運営を 笹ヶ瀬 慶造



令和5年6月28日の「社会福祉法人さくま」理事会において大石理事長の後任として理事長職を拝命し、その重責に身の引き締まる思いですが、微力ながら自分に課せられた大きな役割を少しずつ果たせていければと考えております。

私は、社会福祉法人聖隷福祉事業団に平成元年4月（1989年）に入職し、病院の事務職や有料老人ホーム（エデンの園）の施設長などを経験し、本年4月に社会福祉法人さくまへと出向となりました。私自身が北区引佐町民ですので、浜松市の中山間地域に住まう一員として、住み慣れたこの地域の高齢者福祉に携わる仕事をさせていただくことにやりがいと幸せを感じております。入職以来30年以上に渡り現場で利用者と向き合う仕事をさせていただいておりますが、

高齢者に関わる仕事はお一人おひとりの生活に向き合い、支援させていただくことができる究極の対人サービスであると実感しております。

さくまの里は、この地域にとって唯一無二の介護サービスを提供する拠点ですので、これまでの地域の皆様や職員の皆様が築き上げてきた支援体制をできる限り維持しつつも、社会情勢や時代変化に伴う事業規模や事業形態を再編していかなければなりません。直面する職員の高齢化や慢性的な人材不足の課題についても、ICT活用、新たな介護技術で皆様方へのサービス提供の質向上を図ってまいります。ご利用者、地域の皆様のニーズをしっかりと受け止め、職員一同で『さくまの里の大切にすべき価値＝①尊厳の保持 ②共生 ③安全と安心 ④誠実と熱意』の実現に向けて、さらに進化する組織運営をしていく所存ですので、何卒、皆様方のご指導とご協力をお願い申し上げます。

2022年度 事業報告及び決算報告(抜粋)

◎事業報告

事業	定員	一日平均利用者数(人)	利用者延べ数(人)	平均介護度	その他
特別養護老人ホーム	44人	44.3	16,176	3.7	
ショートステイ	20人	18.9	6,875	2.5	
デイサービス(一般型)	25人	13.9	4,278	1.4	
デイサービス(認知症型)	8人	3.6	1,103	1.9	
元気はつらつ教室	15人	9.9	939	—	
ホームヘルプサービス	—	7.3	2,393	1.3	
高齢者生活福祉センター	8人	4.1	1,476	1.0	
小規模多機能型居宅介護	29人	18.3	6,670	2.1	
居宅介護支援事業・給付管理(1ヵ月平均)					76件

◎決算報告

2022年度 事業活動計算書

単位：千円

科目	金額	科目	金額
サービス活動費用計(1)	422,864	サービス活動収益計(2)	426,712
人件費	298,309	介護保険事業収益	409,582
事業費	78,898	障害福祉サービス等事業収益	710
事務費	33,224	支援ハウス他事業収益	15,924
利用者負担軽減額	2,670	経常経費寄附金収益	496
減価償却費	49,689		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△39,926		
サービス活動増減差額(3)=(2)-(1)	3,848		
サービス活動外費用(4)	1,587	サービス活動外収益(5)	1,945
サービス活動外増減差額(6)=(5)-(4)	358		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	4,206		
特別費用(8)	2,211	特別収益(9)	1,471
特別増減差額(10)=(9)-(8)	△740		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	3,466		
前期繰越活動増減差額(12)	235,747		
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	239,213		

2022年度 資金収支計算書

単位：千円

科目	金額	科目	金額
事業活動支出計(1)	415,927	事業活動収入計(2)	428,657
人件費支出	300,554	介護保険事業収入	409,582
事業費支出	78,914	障害福祉サービス等事業収入	710
事務費支出	32,286	支援ハウス他事業収入	15,924
利用者負担軽減額	2,670	経常経費寄附金収入	496
支払利息支出	748	その他の収入	1,945
その他の支出	755		
事業活動資金収支差額(3)=(2)-(1)	12,730		
施設整備等支出(4)	26,170	施設整備等収入(5)	509
施設整備等資金収支差額(6)=(5)-(4)	△25,661		
その他の活動支出(7)	1,519	その他の活動収入(8)	1,645
その他の活動資金収支差額(9)=(8)-(7)	126		
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△12,805		
前期末支払資金残高(11)	180,004		
当期末支払資金残高(12)=(10)+(11)	167,199		

2023年3月31日現在

貸借対照表

単位：千円

資産の部		負債の部	
流動資産	186,119	流動負債	46,074
現金預金	125,242	事業未払金	17,334
事業未収金	55,399	1年以内返済予定設備資金借入金	14,250
未収補助金	4,663	賞与引当金	13,520
その他の流動資産	815	その他の流動負債	970
固定資産	877,417	固定負債	41,013
基本財産	811,498	設備資金借入金	28,500
建物	811,498	その他の固定負債	12,513
その他の固定資産	65,919	負債の部合計	87,087
土地	6,239		
建物	1,601	純資産の部	
構築物	1,995	基本金	16,061
車両運搬具	1,950	国庫補助金等特別積立金	691,339
器具及び備品	13,597	その他の積立金	30,001
その他の固定資産	40,537	次期繰越活動増減差額	239,048
		(うち当期活動増減差額)	3,466
		純資産の部合計	976,449
資産の部合計	1,063,536	負債及び純資産の部合計	1,063,536

なお、詳しくお知りになりたい方は、当施設またはホームページでご覧になれます。

施設内学会を行いました

第22回さくまの里施設内学会を開催しました。10部署から利用者の処遇改善やコロナ感染症の事例についての発表が行われ、施設外介護室の「災害に備えるNo.4～災害時の対応の調理をしてみて～」が最優秀賞を受賞しました。

これらの取り組みをこれだけに終わらせることなく、今後もよりご利用者の満足度が向上できるようなサービスを目指していきます。



面会制限が緩和されました

施設内の感染症対策の見直しに伴い、面会制限の緩和を致しました。長期に渡り感染症対策にご協力いただき誠にありがとうございました。

現在は居住スペースまでの入館が可能となりました。引き続き来訪時のマスク着用・手指消毒のご協力をお願い致します。

「久々に会えて嬉しい」「孫を近くで会わせてあげることができて嬉しい」というご家族の声も聞かれ、何よりご利用者がご家族と直接触れ合えることをとても喜ばれています。

今後も感染症の流行に注視し、皆様に安心して過ごしていただけるよう努めて参ります。



【お願い】 面会中の飲食は禁止とさせていただきます、差し入れがある場合は職員にお声掛けください。

さくまの里 稼働状況 (5月)

サービス	定員	利用者数
特別養護老人ホーム (入居)	44名	43.8名入所(月末時点)
短期入所生活介護 (ショートステイ)	20名	21.1名(1日平均)※特養空床利用有
通所介護 (デイサービス)	一般型	25名/日 14.6名(1日平均)
	認知症対応型	8名/日 4.6名(1日平均)
訪問介護 (ホームヘルプサービス)	—	8.0名(1日平均)
高齢者福祉センター (生活支援ハウス)	19名	9.0名入所(月末時点)

特養入所はお申し込みからご入居まで最短2か月。随時お申し込み受付中。

職員募集中

・介護職員 ・看護職員 ・施設ケアマネジャー ・調理員 ・事務員

給与 人事院勧告準拠 正職員(高卒)153,500円～ ・パート職員944～1,300円
 その他各種手当有り
 年1回定昇有り

賞与 年2回 (2022年度実績4.40ヶ月)

研修 研修体制充実 (一般職員研修、管理者研修、専門研修、勉強会(各種))

福利厚生 聖隷健保組合加入
 聖隷互助会制度充実 (医療費、分娩費、映画館チケット代補助 他)

お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ
 社会福祉法人さくま さくまの里

☎ **053-965-1855**

担当：運営サービス課 中野

社会福祉法人 さくま
「さくまの里」

- 特別養護老人ホーム
- デイサービスセンター (一般型) (認知症型)
- 高齢者生活福祉センター
- ホームヘルプサービスセンター
- 在宅介護支援センター

〒431-3908
 静岡県浜松市天竜区佐久間町中部18-15
 TEL: 053-965-1855

発行責任者 中野 幸代

編集後記
 新型コロナウイルスも5類に移行してからさくまの里でも感染対策をとりながらではありますが、面会も自由にできるようになりました。
 ご家族の方ももちろんご利用者の生き生きとした笑顔を見られるようになりとても嬉しく思います。
 そのような様子を広報誌を通して配信して行きたいと思っています。
 S i t

ご寄付・ボランティア

ありがとうございました。
 (4～6月・順不同、敬称略)

ご寄付

- 高木 國芳
- 田高 節子
- 中澤 信義
- 匿名 (12名)

ご協力ください

不要になった衣類・タオル (綿100%でタオル地の物やTシャツなど) ご惠贈下さいますようお願いいたします。